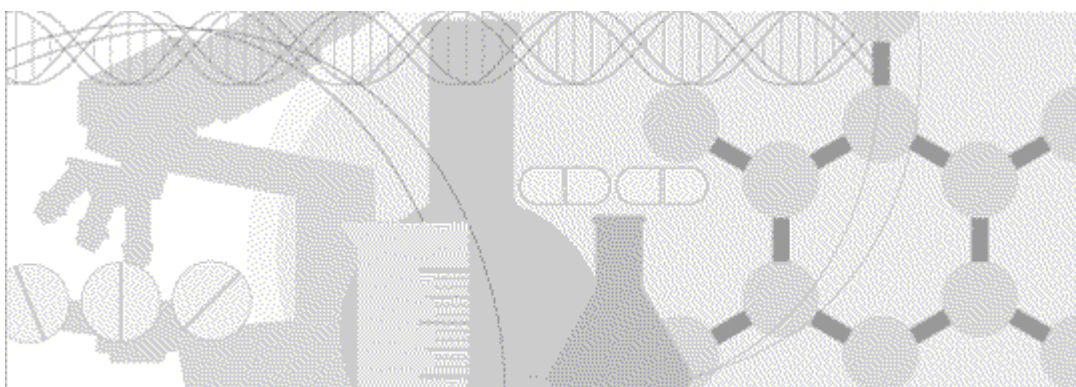


# Portal 管理ガイド

Oracle Health Sciences InForm 6.0



ORACLE®

Copyright © 2013, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このプログラム（ソフトウェアおよびドキュメントの両方を含む）には専有情報が含まれています。このプログラムは使用および開示に関する制限を含むライセンス契約の下で提供され、著作権および特許、その他の知的財産権と工業所有権に関する法律により保護されています。独立して作成された他のソフトウェアとの互換性を得るために必要な場合、もしくは法律によって規定されている場合を除き、このプログラムのリバース エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等は禁止されています。

ここに含まれている情報は予告なしに変更される場合があります。当社は、このドキュメントに誤りがないことの保証は致しかねます。誤りを見つけた場合は、書面で当社に報告してください。ライセンス契約で明記的に許諾されている場合を除き、このプログラムを形式、手段（電子的または機械的）、目的に関係なく、複製または転用することはできません。

このプログラムが米国政府機関、もしくは米国政府機関に代わってこのプログラムをライセンスまたは使用する者に提供される場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software -- Restricted Rights (June 1987).Oracle USA, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このプログラムは、核または航空産業、大量輸送、医療あるいはその他の危険が伴うアプリケーションへの用途を目的としておりません。このプログラムをかかえる目的で使用する際、上述のアプリケーションを安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（redundancy）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。万一かかるプログラムの使用に起因して損害が発生いたしましても、当社は一切責任を負いかねます。

このプログラムは、第三者の Web サイトへリンクし、第三者のコンテンツ、製品、サービスへアクセスすることがあります。Oracle は、第三者の Web サイトで提供されるコンテンツに関しては責任を負いかねます。かかるコンテンツの使用に関連する危険はすべて使用者の責任となります。第三者の製品またはサービスを購入する場合は、第三者と直接の取引となります。Oracle は (a) 第三者の製品またはサービスの質、もしくは (b) 製品またはサービスの提供および購入された製品またはサービスに関連する保証義務を含む第三者との契約の履行の責任を一切負いません。Oracle は 第三者との取引に起因する損失または損害には責任を負いません。

Oracle は、Oracle Corporation および／またはその関連会社の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

このドキュメントは、以前 Phase Forward Inc. 社により提供されていた材質、サービス、製品について記載している場合があります。材質、サービス、製品によっては提供を終了したものがあります。本書にかかる記載がある場合、Oracle およびその関連会社は一切その責任を負いかねます。

# 目次

このガイドについて	<b>v</b>
このガイドの概要	vi
対象とする読者	vi
関連情報	vii
ドキュメント	vii
サポートが必要な場合	x
<b>InForm Portal アプリケーションについて</b>	<b>1</b>
InForm Portal アプリケーションの概要	2
InForm Portal コンポーネント	2
サポートされているドキュメントタイプ	3
InForm Portal アプリケーションにアクセスするためのユーザの役割と権限	4
システム要件	6
<b>InForm Portal アプリケーションのセットアップ</b>	<b>7</b>
InForm Portal セットアップ変数のワークシート	8
セットアップ変数の使用	10
ステップ 1 : Portal の設定ウィザードを実行する	11
ステップ 2 : コンフィギュレーション管理者をセットアップする	13
InForm Portal Admin 権限グループの作成	13
コンフィギュレーション管理者への権限の割り当て	13
ステップ 3 : InForm Portal ホームページをカスタマイズする	15
InForm Portal ホームページをローカライズする	15
InForm Portal ソフトウェアのアンインストール	16
<b>InForm Portal の設定</b>	<b>17</b>
InForm Portal アプリケーションの設定の概要	18
コンフィギュレーション管理者について	18
タブタイプと InForm Portal ページ	20
タブを操作する際の考慮事項	22
ドキュメントの監査証跡	23
InForm Portal アプリケーションの設定	24
コンフィギュレーション管理者としての InForm Portal アプリケーションへのアクセス	24
Portal 管理者権限の割り当て	24
タブの作成と名前付け	25
ホームページとしての InForm Portal アプリケーションの指定	26
ドキュメントの監査証跡の表示の有効化	26
InForm Portal データベースの認証情報の更新	27
Portal 管理者の権限の編集	28
Portal 管理者の無効化	28
<b>InForm Portal 管理</b>	<b>29</b>
ポータル管理の概要	30
[管理] タブについて	31
[管理] タブのオプション	31
タブおよびセクションの操作	32
タブの名前の変更	32

タブの並べ替え .....	33
タブへのセクションの追加 .....	33
セクションプロパティの編集 .....	34
タブの有効化または無効化 .....	34
主要な連絡先のセットアップ .....	35
ドキュメントの管理 .....	36
ドキュメントをアップロードする前に .....	36
ドキュメントのアップロード .....	37
ドキュメントの更新 .....	38
ドキュメントのプロパティの編集 .....	39
エンドユーザに対するドキュメントの使用制限 .....	40
ドキュメントの非表示 .....	40
依頼者ユーザに対するドキュメントアクセスの制限 .....	40
ポータル色のカスタマイズ .....	41
InForm Portal のページ色 .....	41
色の指定 .....	41

# このガイドについて

## この序章の内容

このガイドの概要 .....	vi
関連情報 .....	vii
サポートが必要な場合 .....	x

## このガイドの概要

『Portal 管理ガイド』では、InForm Portal ソフトウェアのセットアップと、InForm Portal アプリケーションの設定および管理の手順について説明します。

**注：**InForm Portal ソフトウェアは、InForm ソフトウェアをインストールする過程でインストールされます。したがって、この**管理ガイド**は、**InForm Portal** ソフトウェアがインストールされていることを前提とします。詳細については、『インストールガイド』を参照してください。

## 対象とする読者

このガイドは、InForm Portal 管理者、アプリケーションエンジニア、または InForm Portal アプリケーションのセットアップ/設定の担当者やユーザインターフェイスのオプションを使用する InForm Portal アプリケーション保守担当者を対象にしています。

# 関連情報

## ドキュメント

すべてのドキュメントは Oracle Software Delivery Cloud (<https://edelivery.oracle.com>) および Download Center (<https://extranet.phaseforward.com>) から入手できます。

InForm ドキュメント	
ドキュメント	説明
リリースノート	リリースノートでは、今回のリリースで導入された拡張機能と修正された問題、アップグレードの注意事項、リリース履歴、およびその他の最新情報について説明しています。
既知の問題	<p>既知の問題では、このリリースに含まれる既知の問題に関する詳細な情報とその回避策（存在する場合）を説明しています。</p> <p><b>注：</b> 既知の問題に関する最新のリストは、Oracle Extranet で入手できます。</p> <p>Extranet にサインインするには、<a href="http://www.phaseforward.com">www.phaseforward.com</a> に移動して <b>[Customer Login]</b> をクリックします。電子メールアドレスとパスワードを入力して、<b>[Known Issues]</b> セクションに移動します。製品を選択して、検索条件を入力します。</p>
インストールガイド	『インストールガイド』では、ソフトウェアをインストールし、環境を InForm アプリケーションおよび Cognos 8 Business Intelligence 用に設定する方法について説明します。
スタディとレポート設定ガイド	『スタディとレポート設定ガイド』では、InForm スタディをセットアップし、レポーティングと分析モジュールをスタディ用に設定するために必要なタスクを実行する方法について説明します。
ユーザガイド	<p>ユーザガイドでは、多言語でのスタディ、ユーザインタフェースのナビゲート方法、また、アプリケーションを使用してスタディ実施時に標準的な業務を遂行する方法などの詳細を含む、InForm アプリケーションの概要について説明しています。</p> <p>このドキュメントは、ドキュメンテーション CD および InForm ユーザインタフェースからも参照できます。</p>

InForm ドキュメント	
ドキュメント	説明
レポーティングと分析ガイド	<p>『レポーティングと分析ガイド』では、レポーティングと分析モジュールの概要について説明します。このガイドでは、レポーティングと分析のインタフェースの概要、アドホックレポーティング機能にアクセスする方法、およびレポートに使用できるスタディ管理と臨床データパッケージについて解説します。また、インストールに含まれる各標準レポートについても詳しく説明します。</p> <p>このドキュメントは、ドキュメンテーション CD から参照できます。</p>
ユーティリティガイド	<p>ユーティリティガイドでは、以下のユーティリティについての情報とその使用手順を説明します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• PFConsole ユーティリティ</li> <li>• MedML インストーラユーティリティ</li> <li>• InForm データエクスポートユーティリティ</li> <li>• InForm データエクスポート</li> <li>• InForm Performance Monitor ユーティリティ</li> <li>• InForm Report Folder Maintenance ユーティリティ</li> </ul> <p>このガイドには、MedML エlement、および InForm アプリケーション上のデータをインポートおよびエクスポートするために使用されるスクリプトオブジェクト、およびデータインポート XML のサンプルに関する参照情報も含まれています。</p> <p>このドキュメントは、ドキュメンテーション CD から参照できます。</p>
Reporting Database Schema Guide	<p>『Reporting Database Schema Guide』では、レポーティングと分析データベーススキーマについて説明します。</p>
Portal 管理ガイド	<p>『Portal 管理ガイド』では、InForm Portal ソフトウェアのセットアップと、InForm Portal アプリケーションの設定および管理の手順について説明します。</p> <p>このドキュメントは、ドキュメンテーション CD および InForm Portal ユーザインターフェイスからも参照できます。</p>



InForm ドキュメント	
ドキュメント	説明
MedML インストーラ ユーティリティ オンラインヘルプ	<p>MedML インストーラユーティリティのオンラインヘルプでは、スタディコンポーネントを定義する XML を InForm データベースにロードするために使用される MedML インストーラユーティリティの使用方法を順を追って説明します。</p> <p>このガイドには、MedML エlement、および InForm アプリケーション上のデータをインポートおよびエクスポートするために使用されるスクリプトオブジェクト、およびデータインポート XML のサンプルに関する参照情報も含まれています。</p> <p>このドキュメントは、ユーザインタフェースからも参照できます。</p>
InForm データエクスポート オンラインヘルプ	<p>InForm データエクスポートのオンラインヘルプでは、InForm データエクスポートの使用方法について、順を追って説明します。InForm データエクスポートは、InForm アプリケーションからデータを以下の形式にエクスポートするために使用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>顧客定義データベース (CDD; Customer-Defined Database)</li> <li>コントロール名/値のペア</li> </ul> <p>このドキュメントは、ユーザインタフェースからも参照できます。</p>
InForm データ エクスポート ユーティリティ オンラインヘルプ	<p>InForm データエクスポートユーティリティのオンラインヘルプでは、InForm データエクスポートユーティリティの使用方法について、順を追って説明します。InForm データエクスポートユーティリティは、InForm アプリケーションにデータをインポートするために使用されます。</p> <p>このドキュメントは、ユーザインタフェースからも参照できます。</p>

## サポートが必要な場合

My Oracle Support にアクセスするとサポートを受けることができます。詳細については <http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info> を参照するか、耳が不自由な方は <http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs> を参照してください。

## 第 1 章

# InForm Portal アプリケーションについて

### この章の内容

InForm Portal アプリケーションの概要 .....	2
システム要件 .....	6

## InForm Portal アプリケーションの概要

InForm Portal アプリケーションは、スタディに Web ポータルを追加する場合に使用するツールです。Web ポータルとは、InForm ユーザがスタディに関連する次のような情報のリポジトリにアクセスできるダイナミックホームページのことです。

- ホワイトペーパー。
- 主要な連絡先へのリンク。
- ニュースアイテム。


InForm Portal アプリケーションには、次の機能が用意されています。

- InForm Portal アプリケーションのデザインやコンテンツをカスタマイズするためのインターフェイス
- ユーザのプロダクトロケールで設定された言語でコンテンツを表示する機能
- 規制に従うためにドキュメントの旧バージョンを格納して参照できるようにする、ドキュメント履歴の自動ロギング機能
- ユーザグループの権限や特権を微調整するための、管理設定、ユーザグループ設定、およびアクセス設定のカスタマイズ機能
- 不正にアクセスや変更が行われないようにするセキュリティレベル

InForm Portal アプリケーションには、コンフィギュレーション管理者または適切な権限を持つ Portal 管理者が次の操作を実行できる管理者インターフェイスがあります。

- InForm Portal アプリケーションを設定する。
- InForm Portal アプリケーションを使用してアクセスされる情報を編成する。

## InForm Portal コンポーネント

InForm Portal アプリケーションは InForm スタディと統合されているので、InForm Portal アプリケーションは InForm コンテンツペインに表示されます。InForm Portal アプリケーションは、スタディのプロダクトロケールごとにセットアップできます。InForm Portal アプリケーションを表示するには、InForm ナビゲーションツールバーにある [ホーム] アイコン () をクリックします。InForm Portal ページは、InForm アプリケーション内に InForm ナビゲーションツールバーと共に表示されます。

InForm Portal アプリケーションでは、InForm アプリケーションでユーザに割り当てられているユーザタイプ、および InForm Portal アプリケーションのタブやドキュメントに指定されているプロパティに基づいてエンドユーザに情報が表示されます。

- InForm Portal アプリケーションの上部の InForm ナビゲーションツールバーの下にカスタムタブが表示されます。

タブは、InForm Portal アプリケーションのコンテンツ編成の第 1 レベルです。

各タブは、さらに分類することができます。

- コンフィギュレーション管理者と Portal 管理者は、さらに InForm Portal アプリケー

ションコンテンツの設定オプションにアクセスできるタブを表示できます。

## サポートされているドキュメントタイプ

InForm Portal アプリケーションでは、次のドキュメントタイプをアップロードできます。

- Microsoft Word/RTF
- Adobe Acrobat Portable Document Format (PDF)
- ハイパーテキストマークアップ言語 (HTML)
- Microsoft PowerPoint
- Microsoft Excel
- Microsoft Project
- GIF 形式および JPG 形式の画像

コンフィギュレーション管理者と Portal 管理者は、Web ベースのフォームを使用してドキュメントをアップロードします。InForm Portal アプリケーションにより、ドキュメントの追加、更新、変更の監査証跡が保持されます。

## InForm Portal アプリケーションにアクセスするためのユーザの役割と権限

すべての InForm Portal ユーザは、登録されている InForm ユーザでなければなりません。しかし、登録されているすべての InForm ユーザに InForm Portal アプリケーションへのアクセス権が割り当てられるわけではありません。InForm アプリケーション内でユーザに割り当てられた権限グループによってユーザタイプが決まります。

ユーザタイプ	権限
コンフィギュレーション管理者	<p>InForm Portal コンフィギュレーション管理者には、コンフィギュレーション管理に必要な次の権限が与えられています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [管理者設定] タブや [管理] タブを含めて、すべての InForm Portal タブを表示する。</li> <li>• タブやセクションを作成および編集する。 詳細については、「<a href="#">タブの作成と名前付け</a>」（25ページ）を参照してください。</li> <li>• InForm Portal アプリケーションにドキュメントをアップロードする。</li> <li>• InForm Portal コンテンツを変更、追加、および更新する。</li> <li>• Portal 管理者とその権限を定義する。</li> <li>• InForm Portal ユーザを定義する。</li> <li>• スポンサーとユーザの監査証跡を有効にする。</li> <li>• InForm Portal の色を変更する。</li> </ul> <p>注：このユーザタイプには、ユーザ情報を変更するための InForm 権限も必要です。</p>
Portal 管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コンフィギュレーション管理者から権限が与えられたオプションを表示する。</li> <li>• [管理] タブを表示する。</li> <li>• タブを編集する。</li> <li>• セクションをタブに追加したり、編集したりする。</li> <li>• InForm Portal アプリケーションにドキュメントをアップロードする。</li> <li>• InForm Portal コンテンツを変更、追加、および更新する。</li> <li>• InForm Portal の色を変更する。</li> </ul>

ユーザタイプ	権限
スポンサー	<ul style="list-style-type: none"><li>自身のユーザ ID に関連付けられている権限に関連する情報（スポンサー専用として指定された情報を含む）を InForm Portal アプリケーションで参照する。</li></ul> <p><b>注：</b>このユーザタイプは、どのような方法でも InForm Portal アプリケーションに対する変更や追加はできません。</p>
施設	<ul style="list-style-type: none"><li>自身のユーザ ID に関連付けられた権限に関連する情報（スポンサー専用として指定されていない情報）を InForm Portal アプリケーションで参照する。</li></ul> <p><b>注：</b>このユーザタイプは、どのような方法でも InForm Portal アプリケーションに対する変更や追加はできません。</p>

## システム要件

各 InForm Portal アプリケーションは、1 つの InForm スタディにのみ対応します。スタディに InForm Portal アプリケーションを組み込む前に、次の条件を満たす必要があります。

- InForm 6.0 ソフトウェアをインストールして設定する必要があります。
- スタディがセットアップされ、稼動している必要があります。

**注：**ベーススタディのみをインストールする必要があります。フォームとルールは必要ありません。

- InForm Portal ソフトウェアをインストールする必要があります。

InForm Portal アプリケーションは、InForm ソフトウェアのコアインストールの過程でインストールできる、オプションの機能です。詳細については、『インストールガイド』を参照してください。

InForm Portal アプリケーションがインストールされていることを確認するには、InForm ソフトウェアのインストールディレクトリに「**InFormPortal**」という名前のフォルダがあることを確認してください。



## 第 2 章

# InForm Portal アプリケーションのセットアップ

### この章の内容

InForm Portal セットアップ変数のワークシート .....	8
ステップ 1 : Portal の設定ウィザードを実行する .....	11
ステップ 2 : コンフィギュレーション管理者をセットアップする .....	13
ステップ 3 : InForm Portal ホームページをカスタマイズする .....	15
InForm Portal ソフトウェアのアンインストール .....	16

# InForm Portal セットアップ変数のワークシート

InForm Portal をセットアップするときに、次のようなインストール環境固有の情報を設定する必要があります。

- スタディ名。
- InForm Portal アプリケーションを実行するサーバとドライブ。

次の表に、値を設定する必要があるすべての変数を示します。

ソフトウェアのセットアップを開始する前に、このワークシートの各アイテムの「値」フィールドに値を記入しておくで、各変数に入力する値を把握できます。

**注意：InForm Portal** データベースは既存のユーザ名で作成しないでください。既存のユーザ名で作成すると、既存の **InForm Portal** データベースが上書きされ、格納されているデータが失われます。

アイテム	説明／値	参照箇所
スタディ名	InForm Portal アプリケーションをセットアップする InForm スタディの名前。  注：スタディ名やユーザ名を確認するには、コマンドプロンプトウィンドウを開き、「<InstallationDirctory>%InForm」ディレクトリに移動して、次のコマンドを実行します。  PFADMIN VIEW SERVICE  例： PFST60  値：	<ul style="list-style-type: none"><li>• ステップ 1 (11ページ)</li><li>• ステップ 2 (13ページ)</li></ul>
InForm Portal 仮想ディレクトリパス	InForm Portal アプリケーションの仮想ディレクトリへの物理パス。InForm Portal アプリケーションの仮想ディレクトリは、スタディの仮想ディレクトリの下に配置されます。  例： E:/OracleHS/InForm/InFormPortal/PFST60  値：	<ul style="list-style-type: none"><li>• ステップ 1 (11ページ)</li></ul>
Oracle 接続文字列	InForm データベースの Oracle 接続文字列。  tnsnames.ora ファイルで指定されています。  例： Trial1  値：	<ul style="list-style-type: none"><li>• ステップ 1 (11ページ)</li></ul>

アイテム	説明／値	参照箇所
InForm Portal ユーザ名	セットアップしている InForm Portal の ユーザ名。  <b>例：</b> InFormPortalUID  <b>値：</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステップ 1 (11ページ)</li> </ul>
InForm Portal パスワード	セットアップしている InForm Portal アプリケーションのパスワード。  <b>例：</b> InFormPortalPID  <b>値：</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステップ 1 (11ページ)</li> </ul>
スタディ接続文字列	該当スタディの InForm データベースの Oracle 接続文字列。  <b>例：</b> Trial1  <b>値：</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステップ 1 (11ページ)</li> </ul>
スタディユーザ名	InForm Portal アプリケーションをセットアップする InForm スタディのユーザ名。  <b>注：</b> スタディ名やユーザ名を確認するには、コマンドプロンプトウィンドウを開き、「<InstallationDirectory>\¥InForm」ディレクトリに移動して、次のコマンドを実行します。  PFADMIN VIEW SERVICE  <b>例：</b> PFST60UID  <b>値：</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステップ 1 (11ページ)</li> </ul>
スタディパスワード	InForm Portal アプリケーションをセットアップする InForm スタディのパスワード。  <b>例：</b> PFST60PID  <b>値：</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステップ 1 (11ページ)</li> </ul>
Oracle System ユーザ名	Oracle システムユーザ名。  <b>例：</b> sysuser  <b>値：</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステップ 1 (11ページ)</li> </ul>
Oracle System パスワード	Oracle システムパスワード。  <b>例：</b> sysuserpid  <b>値：</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステップ 1 (11ページ)</li> </ul>

アイテム	説明／値	参照箇所
InForm Portal 表領域パス	Oracle の表領域のデータファイルを格納するパス。  例： D:\oracle\product\11.2.0\oradata  値：	● ステップ 1 (11ページ)

## セットアップ変数の使用

山括弧で囲まれたイタリック体の変数（<Oracle System ユーザ名> など）をシステムの実際の値に置き換えます。

入力する内容は、InForm Portal アプリケーションをセットアップするサーバおよびスタディによって異なります。

## ステップ 1 : Portal の設定ウィザードを実行する

- 1 [スタート] > [すべてのプログラム] > [Oracle] > [InForm 6.0] > [Portal の設定ウィザード] の順に選択します。

Portal の設定ウィザードが表示されます。

- 2 [スタディ名] フィールドで、<Study Name>を選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 デフォルトの場所を受け入れるか、[参照] をクリックして、必要な場所を選択します。

**注 :** デフォルトの場所は、<InForm Portal 仮想ディレクトリパス>です。そのディレクトリがコンピュータに存在しない場合は、Portal の設定ウィザードによって作成されます。

- 5 [次へ] をクリックします。  
[データベース設定] ページが表示されます。
- 6 次のフィールドに必要な情報を入力します。
  - **Portal** データベース接続文字列—<Oracle 接続文字列>。
  - **Portal** データベースユーザ名 - <InForm Portal ユーザ名>。
  - **Portal** データベースユーザパスワード - <InForm Portal パスワード>。
  - スタディデータベース接続文字列—<Study 接続文字列>。
  - スタディデータベースユーザ名 (**Study UID**) —<スタディユーザ名>。
  - スタディデータベースユーザパスワード (**Study PID**) —<スタディパスワード>。
  - **Oracle** システムのユーザ名—<Oracle System ユーザ名>。
  - **Oracle** システムのパスワード—<Oracle System パスワード>。
  - **Portal** データベース表領域の場所 - <InForm Portal 表領域パス>。
- 7 [Portal データベーススキーマを作成する] をオンまたはオフにします。

**注 :** InForm Portal データベーススキーマが既に存在する場合に [Portal データベーススキーマを作成する] チェックボックスをオンにすると、データベーススキーマは上書きされ、新しいデータベーススキーマが作成されます。

- 8 [次へ] をクリックします。  
確認ページが表示されます。
- 9 [設定] をクリックします。
- 10 [完了] をクリックします。

**注：** IIS 7.5 の場合、デフォルトでは最大ファイルサイズは **4 MB** に設定されています。この設定値は、**web.config** ファイルを編集することで **30 MB** まで増大できます。ファイルサイズをキロバイトで指定する場合は、**<system.web>** ノードにエレメント **<httpRuntime maxRequestLength="x">** を追加してください。たとえば、最大ファイルサイズを **8 MB** に増やす場合は、「**<httpRuntime maxRequestLength="8192">**」と入力します。

## ステップ 2：コンフィギュレーション管理者をセットアップする


スタディに対応するプロダクトロケールごとにコンフィギュレーション管理者をセットアップする必要があります。コンフィギュレーション管理者とは、InForm Portal コンフィギュレーション管理権限を与えられた InForm Portal ユーザのことです。コンフィギュレーション管理者には、InForm Portal アプリケーションのグローバル設定の構成、および Portal 管理者（特定の管理者権限を持つ InForm Portal ユーザ）の作成や管理を行う権限を与えられています。コンフィギュレーション管理者は、InForm Portal Admin 権限グループのメンバです。この権限グループを InForm アプリケーションで作成し、プロダクトロケールごとに 1 ユーザをグループに割り当てます。

詳細については、「**コンフィギュレーション管理者について**」（18ページ）を参照してください。

**注：** MedML を使用して、コンフィギュレーション管理者をセットアップし、権限を割り当てることもできます。詳細については、**MedML** オンラインヘルプまたは『ユーティリティガイド』を参照してください。例：

```
<RIGHTSGROUP GROUPNAME="InForm Portal Config Admin">
  <RIGHTREF RIGHT="InForm Portal Admin" />
</RIGHTSGROUP>
```

### InForm Portal Admin 権限グループの作成

- 1 Web ブラウザで、InForm Portal アプリケーションがインストールされている InForm スタディを開きます。
- 2 権限グループを作成する権限を持つユーザでログインします。
- 3 ナビゲーションツールバーの [管理] アイコン (  ) をクリックします。
- 4 [権限] をクリックします。
- 5 [権限グループの追加] ボタンをクリックします。  
[グループプロパティの編集] ページが表示されます。
- 6 [権限グループ名] フィールドに、「InForm Portal Admin」と入力します。
- 7 InForm Portal Admin グループに InForm Portal コンフィギュレーション管理権限を割り当てます。  
詳細については、「**InForm Portal アプリケーションにアクセスするためのユーザの役割と権限**」（4ページ）を参照してください。
- 8 [サブミット] をクリックします。

### コンフィギュレーション管理者への権限の割り当て

InForm アプリケーションでは、スタディに対応するプロダクトロケールごとに 1 ユー

ザをコンフィギュレーション管理者として割り当てます。

- 1 [ユーザ] をクリックします。
- 2 コンフィギュレーション管理者となるユーザの [姓]、[名]、または [アカウント名] リンクをクリックします。

**注：**新しいユーザを作成する場合には、必ずユーザのパスワードを変更して新しいユーザを有効にしてください。

[ユーザ] 詳細ページが表示されます。

- 3 [グループ] タブを選択します。
- 4 [権限グループ] ドロップダウンリストから [InForm Portal Admin] を選択します。
- 5 [サブミット] をクリックします。
- 6 [詳細] タブを選択します。
- 7 ページの下部にスクロールします。[ホームページ] フィールドに、次のように入力します。

**`./Portal/default.htm`**

- 8 [サブミット] をクリックします。



## ステップ 3 : InForm Portal ホームページをカスタマイズする

スタディに関するロゴやテキストを追加して、InForm Portal ホームページをカスタマイズできます。

- 1 ロゴを追加するには、次の手順を実行します。
  - a ロゴを含む GIF ファイルを用意します。
  - b このファイルの名前を **company\_logo.gif** に変更します。
  - c ファイルを <InForm Portal 仮想ディレクトリパス>/**images** フォルダに格納します。

**注：** 最善の結果を得るためには、**company\_logo.gif** ファイルの高さが **50** ピクセルを超えないようにします。

- 2 InForm Portal のホームページにテキストを追加するには、そのテキストが含まれている HTML ファイルを作成します。
- 3 ファイル名を **homedefault.html** として <InForm Portal 仮想ディレクトリパス>/**views/display** フォルダに保存します。

### InForm Portal ホームページをローカライズする

InForm Portal ホームページで複数のロケールをサポートする必要がある場合、homedefault.html に JavaScript を追加し、ブラウザのロケール設定を判断した上で次のいずれかを実行します。

- ユーザをロケール固有のページにリダイレクトする。
- DOM (Document Object Model) を使用し、ホームページ上にあるロケール固有のコンテンツを有効または無効にする。

## InForm Portal ソフトウェアのアンインストール

スタディごとに、次の手順を実行します。

- 1 すべての InForm Portal ユーザのホームページの設定を、InForm Portal ホームページからスタディのホームページにリセットします。
- 2 次のコマンドを使用して、スタディを停止します。  
**pfadmin stop trial<studyname>**
- 3 IIS 内にある InForm Portal 仮想ディレクトリを削除します。  
<Servername> > 施設 > <Studyname>>Portal
- 4 InForm Portal 物理ディレクトリを削除します（オプション）。
- 5 ポータルスキーマをデータベースからドロップします（オプション）。

## 第 3 章

# InForm Portal の設定

### この章の内容

InForm Portal アプリケーションの設定の概要 .....	18
InForm Portal アプリケーションの設定 .....	24

## InForm Portal アプリケーションの設定の概要

InForm Portal アプリケーションの設定とは、外観および動作が仕様どおりになるように InForm Portal アプリケーションをセットアップすることです。コンフィギュレーション管理者は、InForm Portal アプリケーションを設定できる唯一の InForm Portal ユーザです。このユーザは、InForm アプリケーションでユーザ情報を変更する権限を持つ InForm ユーザである必要があります。

コンフィギュレーション管理者は、InForm Portal アプリケーションのセットアップ時にセットアップされます。多言語スタディの場合、スタディに対応するプロダクトロケールごとにコンフィギュレーション管理者をセットアップする必要があります。

詳細については、「**ステップ 2: コンフィギュレーション管理者をセットアップする**」(13 ページ) を参照してください。

InForm Portal アプリケーションを設定する前に、次の設定を確認してください。

- コンフィギュレーション管理者アカウントに、InForm アプリケーションでユーザ情報を変更する権限がある。
- コンフィギュレーション管理者が InForm アプリケーションにログインすると表示されるホームページとして、InForm Portal アプリケーションが指定されている。
- 該当する場合、ホームページにスタディの正しいロゴや情報が用意されている。

詳細については、「**ステップ 3: InForm Portal ホームページをカスタマイズする**」(15 ページ) を参照してください。

### コンフィギュレーション管理者について

InForm Portal アプリケーションをセットアップするには、コンフィギュレーション管理者が次のタスクを実行します。

- *InForm Portal* アプリケーションのインストール時にセットアップされたアカウントを使用して、コンフィギュレーション管理者としてログインする (24ページ)。
- *Portal* 管理者権限を割り当てる (24ページ)。
- タブを作成し、名前を付ける (25ページ)。
- *InForm Portal* アプリケーションを *Portal* 管理者のホームページとして指定する (26ページ)。
- 監査証跡の表示を有効または無効にする (26ページ)。
- *InForm Portal* データベースの認証情報を更新する (27ページ)。  
オプション
- *Portal* 管理者の権限を編集する (30ページ)。  
オプション
- *Portal* 管理者を無効にする (28ページ)。  
オプション
- 主要な連絡先をセットアップする (35ページ)。  
オプション：Portal 管理者が行うこともできます。
- *InForm Portal* の色をカスタマイズする (41ページ)。  
オプション：Portal 管理者が行うこともできます。

## タブタイプと InForm Portal ページ

次のタブは、ほとんどの InForm Portal アプリケーションに共通です。

タブタイプ	制限	属性
管理者設定	コンフィギュレーション管理者だけが表示できます。	Portal 管理者に割り当てられた権限だけが表示されます。  コンフィギュレーション管理者は、Portal 管理者とその権限の追加または編集、および InForm Portal アプリケーションの設定を行うことができます。
管理	コンフィギュレーション管理者と Portal 管理者だけが表示および編集できます。  ページには、管理者に割り当てられた機能だけが表示されます。	コンフィギュレーション管理者または Portal 管理者は、ドキュメントのアップロードと更新、セクション、タブ、タブ順序の管理、および InForm Portal の色の指定を行うことができます。
ホーム	ホームページ上のテキストは、必要な権限を持つ Portal 管理者だけが変更できます。ロゴの変更は、コンフィギュレーション管理者だけが実行できます。	HTML ドキュメント (homedefault.htm) は、各ロケールの user フォルダ内の InForm Portal アプリケーションに関連付けられている仮想ディレクトリに格納されます。ロゴ (company_logo.gif) は、ロケールの images フォルダに格納され、すべてのタブで表示されます。  HTML ドキュメントコンテンツ (ドキュメントへのリンク以外) がインライン表示されます。  このページは、ホームページとして InForm Portal アプリケーションが割り当てられているすべてのエンドユーザが利用できます。  このタブは、名前を変更したり無効にしたりできます。

タブタイプ	制限	属性
コンタクト	<p>コンフィギュレーション管理者または InForm アプリケーションにおいてユーザ情報を変更する権限を持つ Portal 管理者だけが、このページに表示されるユーザを指定できます。</p>	<p>InForm データベースで <b>Public</b> とマークされたユーザの連絡先情報を表示します。</p> <p>情報は InForm データベースから直接得られます。データがローカルの場合（たとえば、電子メールサイトへのリンクが含まれている場合）、InForm Portal アプリケーションにはリンクが含まれます。</p> <p>このタブは、名前を変更したり無効にしたりすることもできます。</p>
ドキュメント	<p>このページにドキュメントをアップロードするには、タブ内にセクションを定義する必要があります。</p> <p>指定したタブにセクション見出しを表示するには、そのセクションにドキュメントを 1 つ以上関連付ける必要があります。</p>	<p>ドキュメントは InForm Portal データベースに格納されます。このページでは、Microsoft Word、Microsoft Excel スプレッドシートソフトウェア、Microsoft PowerPoint、Microsoft Project の各ファイル、Adobe Acrobat (PDF) ファイル、HTML (Web) ページ、および JPEG ファイルや GIF ファイルを表示できます。</p> <p>同時に最大 3 つの異なるファイル拡張子の同ドキュメントをアップロードできます。</p> <p>HTML ドキュメントをアップロードしてブラウザに直接表示できます。</p> <p>デフォルトで [タブ 1] というドキュメントタブが表示されます。</p> <p>このタブは、名前を変更したり無効にしたりできます。</p>

タブタイプ	制限	属性
ヘルプ	ヘルプを編集できるのは、 コンフィギュレーション管理者 と必要な権限を持つ Portal 管理 者だけです。	<p>InForm Portal アプリケーションのタブ の名前と説明、ファイル形式に関する 情報、およびサポートが必要な場合に Oracle に問い合わせる方法が表示され ます。</p> <p>スタディ固有のヘルプを備えた Web ページを作成するには、[ヘルプ] タブに表示するテキストが含まれてい る HTML ファイル (Web ページ) を アップロードします。HTML ファイル にはヘッダータグを追加しないでくだ さい。</p> <p>このページは、ホームページとして InForm Portal アプリケーションが 割り当てられているすべてのエンド ユーザが利用できます。</p> <p>このタブは、名前を変更したり無効に したりできます。</p>

## タブを操作する際の考慮事項

各ロケールのコンフィギュレーション管理者は、ポータルにタブを追加する権限を持つ必要がある唯一のユーザです。すべての管理者（コンフィギュレーション管理者および適切な権限を持つ Portal 管理者）が、タブの名前の編集、タブへのセクションの追加、タブの有効化/無効化、およびタブの順序の変更を行うことができます。

タブを操作する場合は、次の点に留意してください。

- 依頼者は、指定した InForm Portal アプリケーションに表示されるタブの数を制限します。

**注：InForm Portal** アプリケーションでは、プロダクトロケールごとに **InForm Portal** アプリケーションに最大 **13** 個のタブ（[管理者設定] タブ、[管理] タブなど）を設定できます。

- さらに追加する場合は、適切なビジネスチャネルを通して承認を受ける必要があります。
- タブ名を設定すると、そのタブ名が常にタブの編集ページに表示されます。
  - タブは、必要に応じて有効または無効にすることができます。
  - タブ名はタブ名のリストに残り、削除することはできません。
- タブ内のセクションには、ドキュメントをアップロードすることしかできません。
  - ドキュメントをアップロードするには、セクションを指定する必要があります。



- タブ名に関連付けられているタブページは、そのページにコンテンツがなければユーザインターフェイスに表示されません。

## ドキュメントの監査証跡

InForm Portal アプリケーションでは、アップロードされるすべてのドキュメントの履歴がログに記録されます。記録される情報は次のとおりです。

- 名前。
- 時刻。
- アップロードまたは変更の日付。
- 変更理由。

InForm Portal アプリケーションは、次のように設定できます。

- すべての古いファイルを非表示にして、最新バージョンのファイルのみを表示する。
- これまでにアップロードされたドキュメントの全バージョンを表示する。

**注：**ドキュメントの全バージョンが格納されるため、完全な監査証跡が保持されます。

詳細については、「ドキュメントの監査証跡の表示の有効化」(26ページ)を参照してください。

## InForm Portal アプリケーションの設定

該当スタディに設定されたプロダクトロケールごとに、この後の手順を実行します。そのため、プロダクトロケールごとにコンフィギュレーション管理者をセットアップすることをお勧めします。コンフィギュレーション管理者が InForm Portal アプリケーションにログインすると、該当するロケールのタブが表示されます。コンフィギュレーション管理者は、そのロケールに対してあらゆるセットアップ作業を実行できます。

### コンフィギュレーション管理者としての InForm Portal アプリケーションへのアクセス

InForm Portal アプリケーションは InForm スタディと統合されているので、InForm Portal アプリケーションは InForm コンテンツペインに表示されます。

- 1 インターネットブラウザを開きます。
- 2 治験の URL を入力し、[Enter] を押します。  
ログインページが表示されます。
- 3 コンフィギュレーション管理者としてログインします。

詳細については、「**ステップ 2: コンフィギュレーション管理者をセットアップする**」(13ページ)を参照してください。

InForm Portal アプリケーションがペインとして表示され、タブが上部に表示されます。

タブは、InForm Portal アプリケーションのコンテンツ編成の第 1 レベルです。

デフォルトでは、[管理者設定] タブが表示されます。

- **左側のカラムの [設定オプション]** を選び、Portal 管理者のセットアップ、コンフィギュレーション管理者と Portal 管理者への権限の割り当て、および監査証跡ステータスの設定をすることができます。
- **[管理者] テーブル**には、InForm Portal アプリケーションに対してセットアップされるコンフィギュレーション管理者と Portal 管理者に割り当てられる権限が表示されます。
- **[監査証跡のステータス]** では、依頼者とユーザの監査証跡が有効かどうかが表示されます。

### Portal 管理者権限の割り当て

コンフィギュレーション管理者には、Portal 管理者のすべての権限が必要です。コンフィギュレーション管理者は、Portal 管理者を作成し、それぞれの権限を設定します。通常、Portal 管理者は臨床試験担当であり、InForm Portal アプリケーションのコンテンツや外観の管理および InForm Portal の大半の保守を行います。

- 1 InForm Portal アプリケーションで、[管理者設定] タブをクリックします。
- 2 [設定オプション] セクションの [Portal 管理者の追加] をクリックします。

InForm Portal アプリケーションへのアクセス権を持つすべての InForm ユーザの名前を含むドロップダウンリストが表示されます。

- 3 [InForm ユーザ] フィールドで、Portal 管理者権限を割り当てるユーザの名前を選択します。
- 4 次のいずれかを実行します。

- コンフィギュレーション管理者の場合、すべての権限を選択します。
- Portal 管理者の場合、Portal 管理者に割り当てる各権限を選択します。

詳細については、「**InForm Portal アプリケーションにアクセスするためのユーザの役割と権限**」(4ページ)を参照してください。

**注：**Portal 管理者には、タブを追加する権限を与えないことをお勧めします。この権限は、コンフィギュレーション管理者だけに与えてください。

- 5 [サブミット] をクリックします。
- 6 更新内容を表示するには、[管理者設定] ページで [更新] をクリックします。

## タブの作成と名前付け

InForm Portal アプリケーションに表示されるタブを作成し、そのタブに名前を付けることができるのは、コンフィギュレーション管理者だけです。

詳細については、「**タブを操作する際の考慮事項**」(22ページ)を参照してください。

**注：**InForm Portal アプリケーションでは、プロダクトロケールごとに最大 **13** 個のタブ（[管理者設定] タブ、[管理] タブなど）を設定できます。

- 1 コンフィギュレーション管理者として InForm アプリケーションにログインします。
- 2 InForm Portal アプリケーションで、[管理] タブを選択します。
- 3 [レコードの追加] セクションの [タブ] をクリックします。

既存のタブのリストが表示され、続いて[新しいタブ]定義ボックスが表示されます。

- 4 次のフィールドに必要な情報を入力します。
  - 新しいタブ - タブに表示する名前。
  - 依頼者タブ - このタブを依頼者ユーザだけに表示できます。
  - 説明 - タブのコンテンツの簡単な説明。
- 5 [サブミット] をクリックします。
- 6 新たに作成したタブを表示するには、[更新] をクリックします。

**注：**InForm Portal アプリケーションで設定されたデフォルトのタブ名を使用しない場合は、管理者が名前を変更できます。詳細については、「**タブの名前の変更**」(32 ページ)を参照してください。


## ホームページとしての InForm Portal アプリケーションの指定

管理者は、InForm Portal アプリケーションをコンフィギュレーション管理者のホームページとして指定します。

コンフィギュレーション管理者は、すべての Portal 管理者に対してこの手順を実行します。

Portal 管理者は、InForm Portal アプリケーションにアクセスするすべての InForm ユーザに対してこの手順を実行します。

この手順を実行するために、Portal 管理者には、InForm Portal アプリケーションがホームページとして割り当てられている必要があります。また、ユーザの属性を変更するための InForm 権限も必要です。

- 1 InForm アプリケーションにログインします。
- 2 InForm ナビゲーションツールバーの [管理] () アイコンをクリックします。
- 3 [ユーザ] をクリックします。
- 4 InForm Portal アプリケーションをホームページとして指定するユーザの[姓]、[名]、または [アカウント名] リンクをクリックします。  
[ユーザ] 詳細ページが表示されます。
- 5 ユーザレコードの下部にスクロールします。
- 6 [ホームページ] フィールドで、InForm Portal ホームページへのパス (./Portal/default.htm など) を入力します。
- 7 [プロダクトロケール] を選択します。  
この操作により、InForm Portal ページの言語が決定されます。
- 8 [サブミット] をクリックします。

## ドキュメントの監査証跡の表示の有効化

ユーザにドキュメントの履歴を表示する場合は、コンフィギュレーション管理者が監査証跡の表示を有効にする必要があります。

詳細については、「[ドキュメントの監査証跡](#)」(23ページ) を参照してください。

- 1 コンフィギュレーション管理者として InForm アプリケーションにログインします。
- 2 InForm Portal アプリケーションで、[管理者設定] タブを選択します。
- 3 [設定オプション] セクションの [システム設定] をクリックします。
- 4 依頼者専用ドキュメントの監査証跡を表示するには、[依頼者の監査証跡] フィールドで [有効] を選択します。
- 5 すべてのドキュメントの監査証跡を表示するには、[ユーザの監査証跡] フィールドで [有効] を選択します。

- 6 [サブミット] をクリックします。

**注：**コンフィギュレーション管理者がこの機能を有効にした場合、ドキュメント履歴を表示するには、ドキュメント名の横の **[+]**（最大化）ボタンをクリックします。ドキュメントの最新バージョンのみが表示されるようにドキュメント履歴を折りたたむには、**[-]**（最小化）ボタンをクリックします。

## InForm Portal データベースの認証情報の更新

InForm Portal ユーザ名またはパスワードを変更するには、InForm Portal データベースの認証情報を編集します。

- 1 テキストエディタを使用して、**ChangePortalDBConnectionString.xml** ファイルを次のように編集します。

```
<ChangePortalDBConnectionString>

  <Trial Name><Study Name></Trial Name>

  <OldConnectionStr>

    <Username><Previous InForm Portal User Name></User Name>

    <Password><Previous InForm Portal Password></Password>

    <Source><Oracle Connect String></Source>

  <OldConnectionStr>

  <NewConnectionStr>

    <Username><InForm Portal User Name></Username>

    <Password><InForm Portal Password></Password>

    <Source><Oracle Connect String></Source>

  </NewConnectionStr>

</ChangePortalDBConnectionString>
```

- 2 ChangePortalDBConnectionString.xml ファイルを保存します。
- 3 [スタート] > [ファイル名を指定して実行] の順に選択します。
- 4 「cmd」と入力します。
- 5 [OK] をクリックします。

コマンドプロンプトウィンドウが表示されます。

- 6 次のコマンドを入力します。

```
PortalConfig.exe -updv ChangePortalDBConnectionString.xml
```

- 7 [Enter] を押します。

## Portal 管理者の権限の編集

Portal 管理者の権限を追加または制限するには、コンフィギュレーション管理者が、Portal 管理者に割り当てる権限を変更できます。

- 1 コンフィギュレーション管理者として InForm アプリケーションにログインします。
- 2 InForm Portal アプリケーションで、[管理者設定] タブを選択します。
- 3 [設定オプション] セクションの [Portal 管理者の編集] をクリックします。
- 4 編集する Portal 管理者の名前の右側にある [編集] をクリックします。
- 5 この Portal 管理者の権限を選択または選択解除します。
- 6 [サブミット] をクリックします。

## Portal 管理者の無効化

- 1 コンフィギュレーション管理者として InForm アプリケーションにログインします。
- 2 InForm Portal アプリケーションで、[管理者設定] タブを選択します。
- 3 [設定オプション] セクションの [Portal 管理者の編集] をクリックします。
- 4 編集する Portal 管理者の名前の右側にある [編集] をクリックします。
- 5 [有効] フィールドで、[いいえ] を選択します。
- 6 [サブミット] をクリックします。

## 第 4 章

# InForm Portal 管理

### この章の内容

ポータル管理の概要.....	30
[管理] タブについて.....	31
タブおよびセクションの操作.....	32
主要な連絡先のセットアップ.....	35
ドキュメントの管理.....	36
エンドユーザに対するドキュメントの使用制限.....	40
ポータル色のカスタマイズ.....	41

## ポータルの管理の概要

Portal 管理者は、ポータルを管理するためにコンフィギュレーション管理者から権限を与えられた InForm ユーザです。各 Portal 管理者の責任は、コンフィギュレーション管理者から与えられる権限によって異なりますが、Portal 管理者グループは、次に対する責任を負います。

- ホームページとしての *InForm Portal アプリケーションの指定* (26ページ)
- *タブの名前の変更* (32ページ)
- *タブの並べ替え* (33ページ)
- *タブへのセクションの追加* (33ページ)
- *セクションプロパティの編集* (34ページ)
- *タブの有効化または無効化* (34ページ)
- *主要な連絡先のセットアップ* (35ページ)
- *ドキュメントのアップロード* (37ページ)
- *ドキュメントの更新* (38ページ)
- *InForm Portal の色のカスタマイズ* (41ページ)



## [管理] タブについて

コンフィギュレーション管理者と Portal 管理者には、[管理] タブを表示する権限があります。このページで使用可能なオプションにより、管理者は、InForm Portal アプリケーションのコンテンツの作成および変更を行うことができます。ユーザが利用できるオプションは、コンフィギュレーション管理者によって設定されます。

詳細については、「InForm Portal アプリケーションにアクセスするためのユーザの役割と権限」(4ページ) および「**Portal 管理者権限の割り当て**」(24ページ) を参照してください。

## [管理] タブのオプション

見出し	使用目的
レコードの追加	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいタブを追加する。</li> </ul> <p><b>注：</b>このオプションは、コンフィギュレーション管理者しか利用できないようにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>タブに新しいセクションを追加する。</li> <li>ドキュメントをアップロードする。</li> <li>ページ色を書式設定する。</li> </ul>
レコードの編集	<ul style="list-style-type: none"> <li>セクション名を編集する。</li> <li>タブ名を編集する。</li> <li>タブの順序を変更する。</li> <li>ドキュメントを更新する。</li> </ul>

## タブおよびセクションの操作

各ロケールのコンフィギュレーション管理者は、ポータルにタブを追加する権限を持つ必要がある唯一のユーザです。すべての管理者（コンフィギュレーション管理者および適切な権限を持つ Portal 管理者）が、タブの名前の編集、タブへのセクションの追加、タブの有効化/無効化、およびタブの順序の変更を行うことができます。

タブは、InForm Portal アプリケーションのコンテンツ編成の第 1 レベルです。次のものを指定できます。

- ホワイトペーパー用の 1 つのタブ
- 主要な連絡先用の 1 つのタブ
- ニュース用の 1 つのタブ

各タブは、さらに分類することができます。たとえば、ホワイトペーパーは、情報のカテゴリに基づくグループに分類することができます。

タブにセクションを追加する場合は、次の点を考慮してください。

- 対象者の着目点および情報ニーズを理解する。
- 最適なタブを選択する。
- ドキュメントを論理的に編成する。
- タブ、セクション、およびドキュメントにわかりやすい名前を付ける。

セクションを作成してそこにドキュメントを追加できますが、ドキュメントの公開準備が整うまでは、ユーザは非公開にすることができます。

詳細については、次を参照してください。

- **タブタイプと InForm Portal ページ** (20ページ)
- **タブを操作する際の考慮事項** (22ページ)
- **タブへのセクションの追加** (33ページ)

## タブの名前の変更

- 1 InForm Portal アプリケーションで、[管理] タブを選択します。
- 2 [レコードの編集] セクションの [タブ] をクリックします。
- 3 名前を変更するタブの右側にある [編集] をクリックします。
- 4 変更を加えます。
- 5 [サブミット] をクリックします。

## タブの並べ替え

- 1 InForm Portal アプリケーションで、[管理] タブを選択します。
  - 2 [レコードの編集] セクションの [タブの順序] をクリックします。
    - 選択したタブを 1 つ左に移動するには、[上へ移動] をクリックします。
    - 選択したタブを 1 つ右に移動するには、[下へ移動] をクリックします。
- ページは、要求された数のタブ（最大 13 タブ）に合わせて調整されます。

**注：** ページを全画面表示にしたときに、すべてのタブが表示されることを確認してください。その場合、ページに水平スクロールバーは表示されません。

## タブへのセクションの追加

セクション見出しは、ドキュメントタブで指定されたカテゴリです。ドキュメントは、タブのセクションに追加されます。タブにドキュメントをアップロードするには、タブに少なくとも 1 つのセクションが必要です。

新しいセクション見出しを作成する場合：

- 最適なタブを選択する。
- ドキュメントを論理的に編成する。
- タブ、セクション、およびドキュメントにわかりやすい名前を付ける。

**注：** セクション名にスペースを含めないでください。

- 対象者の着目点および情報ニーズを考慮する。

**注：** セクションをセットアップしても、そのセクションにドキュメントがアップロードされるまでは、タブにタイトルが表示されません。

- 1 InForm Portal アプリケーションで、[管理] タブを選択します。
- 2 [レコードの追加] セクションの [セクション] をクリックします。  
新しいセクションの追加ページが表示されます。
- 3 次のフィールドに必要な情報を入力します。
  - 新しいセクション - セクションの名前。
  - 説明 - セクションに関する情報。タブ上のセクションタイトルの下に表示されます。
  - タブ - セクションを配置するタブ。
  - このセクションを表示しますか? - セクションとそのコンテンツをエンドユーザーに表示するかどうか。
- 4 [サブミット] をクリックします。

## セクションプロパティの編集

コンフィギュレーション管理者または適切な権限を持つ Portal 管理者は、セクションのプロパティを編集できます。たとえば、セクションの名前や説明を変更したり、準備が整ったセクションを表示にすることができます。

- 1 InForm Portal アプリケーションで、[管理] タブを選択します。
- 2 [レコードの編集] セクションの [セクション] をクリックします。  
セクションの編集ページが表示されます。
- 3 編集するセクションの右側にある [編集] をクリックします。  
セクションのプロパティページが表示されます。
- 4 必要に応じてフィールドを編集します。
- 5 [サブミット] をクリックします。

**注:** セクションタイトルは、そのセクションにドキュメントがアップロードされるまではタブに表示されません。


## タブの有効化または無効化

コンフィギュレーション管理者またはタブを編集する権限を持つ Portal 管理者は、タブを有効（表示）または無効（非表示）にすることができます。

- 1 InForm Portal アプリケーションで、[管理] タブを選択します。
- 2 [レコードの編集] セクションの [タブ] をクリックします。
- 3 有効または無効にするタブまでスクロールします。
- 4 編集するタブの右側にある [編集] をクリックします。
- 5 次のいずれかを実行します。
  - タブを有効にするには、[有効] を選択します。
  - タブを無効にするには、[有効] の選択を解除します。
- 6 [サブミット] をクリックします。

## 主要な連絡先のセットアップ

管理者は、スタディ参加者から主要な連絡先に問い合わせができるように、電子メールのリンクやその他の情報が記されているタブをセットアップできます。

- 1 InForm ナビゲーションツールバーの [管理] () アイコンをクリックします。
- 2 [ユーザ] をクリックします。
- 3 主要な連絡先として指定するユーザの [姓]、[名]、または [アカウント名] リンクをクリックします。  
[ユーザ] 詳細ページが表示されます。
- 4 電話番号と電子メールのフィールドにデータが設定されていることを確認します。
- 5 [説明] フィールドに、  
「**Public**」と入力します。
- 6 [サブミット] をクリックします。
- 7 さらに連絡先を追加するには、ステップ 2 ～ 6 を繰り返します。  
[コンタクト] タブを選択すると、主要な連絡先テーブルに各ユーザの姓、名、役職、日中の電話番号、電子メールアドレスが表示されます。

## ドキュメントの管理

### ドキュメントをアップロードする前に

タブにドキュメントをアップロードするには、少なくとも 1 つのセクションを持つタブが必要です。

詳細については、「[タブの作成と名前付け](#)」(25ページ) および「[タブへのセクションの追加](#)」(33ページ) を参照してください。

**注：**ドキュメントをアップロードする前に、必ずドキュメントに対してウイルス対策プログラムを実行してください。

次のいずれかの形式のドキュメントをアップロードできます。

- Microsoft Word/RTF
- Adobe Acrobat Portable Document Format (PDF)
- ハイパーテキストマークアップ言語 (HTML)
- Microsoft PowerPoint
- Microsoft Excel
- Microsoft Project
- GIF 形式および JPG 形式の画像

**注：**HTML、GIF、JPG の各形式のドキュメントは、そのままブラウザで表示されます。その他のファイル形式には、別途ビューアが必要です。ビューアは、**Adobe** ([www.adobe.com](http://www.adobe.com)) および **Microsoft** ([www.microsoft.com](http://www.microsoft.com)) から入手できます。

#### ドキュメントのプロパティ

#### ドキュメントのアップロードに必要な情報

タブ

ドキュメントを配置するタブの名前。

セクション

ドキュメントを配置するセクションの名前。

**注：**セクションが存在しない場合は、ドキュメントをアップロードする前にセクションを作成する必要があります。

ドキュメントタイトル

InForm Portal タブに表示されるタイトル。タイトルには、InForm Portal ユーザに関連するわかりやすい名前を付ける必要があります。

**注：**このプロパティはいつでも変更できます。詳細については、「[ドキュメントのプロパティの編集](#)」(39ページ) を参照してください。

ドキュメントのプロパティ	ドキュメントのアップロードに必要な情報
参照名	<p>このドキュメントをこれまでおよび今後のすべてのバージョンと関係付ける一意のドキュメント識別子（50 文字以内）。参照名は、ドキュメントの監査証跡を保持するために必要です。</p> <p><b>注：</b>ドキュメントの参照名は変更できません。</p>
このドキュメントを表示しますか?	<p>アップロードしたドキュメントを InForm Portal ユーザに表示するかどうか。</p> <p><b>注：</b>このプロパティはいつでも変更できます。詳細については、「<b>ドキュメントのプロパティの編集</b>」（39ページ）を参照してください。</p>
依頼者専用にしますか?	<p>ドキュメントをすべてのユーザに表示するか依頼者ユーザだけに表示するか。</p> <p><b>注：</b>このプロパティはいつでも変更できます。詳細については、「<b>ドキュメントのプロパティの編集</b>」（39ページ）を参照してください。</p>
フォーマット	<p>ドキュメントの形式。ユーザのドキュメントの使用目的および使用するソフトウェアを考慮してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>ダウンロードおよび編集の場合</b> - ドキュメントを Microsoft Word、Microsoft PowerPoint、Microsoft Excel スプレッドシートソフトウェア、または Microsoft Project で利用できるようにします。</li> <li>• <b>ダウンロードおよび印刷の場合</b> - ドキュメントを Adobe Acrobat (PDF) で利用できるようにします。</li> <li>• <b>オンライン表示の場合</b> - ドキュメントを HTML で利用できるようにします。</li> </ul>

## ドキュメントのアップロード

- 1 InForm Portal アプリケーションで、[管理] タブを選択します。
- 2 [レコードの追加] セクションの [ドキュメントアップロード] をクリックします。  
ドキュメントのアップロードコンソールが表示されます。
- 3 次のフィールドに必要な情報を入力します。

**注：**同時に最大 **3** つの異なるファイル拡張子の同一ドキュメントをアップロードできません。

**InForm Portal** アプリケーションは、**HTML** ドキュメント内の組込みグラフィックをサポートしていません。

- **タイトル** - ドキュメントのタイトル

- 参照名 - ドキュメントの監査証跡を保持するために使用される一意の識別子（英数字 150 字以内または日本語 40 字以内）。
- 説明 - ドキュメントの説明。
- タブの選択 - ドキュメントの配置先のタブ。

**注：**このドロップダウンリストには、少なくとも **1** つのセクション見出しが設定されているタブのみが表示されます。

- セクションの選択 - ドキュメントの追加先のセクション名。
- このドキュメントを表示しますか? - ユーザにドキュメントを表示するかどうか。
- ドキュメントの選択 - ドキュメントのパス。推奨ファイルサイズは 3MB 以下です。

**注：**IIS 7.5 の場合、デフォルトでは最大ファイルサイズは **4 MB** に設定されています。この設定値は、**web.config** ファイルを編集することで **30 MB** まで増大できます。ファイルサイズをキロバイトで指定する場合は、**<system.web>** ノードにエレメント **<httpRuntime maxRequestLength="x">** を追加してください。たとえば、最大ファイルサイズを **8 MB** に増やす場合は、「**<httpRuntime maxRequestLength="8192">**」と入力します。

- 4 さらに同じドキュメントの形式を追加するには、ステップ 2 ～ 3 を繰り返します。
- 5 [サブミット] をクリックします。

概要メッセージが表示されます。このメッセージには、アップロードしたファイルの名前、ファイルのサイズとタイプ、ファイルのダウンロードの所要推定時間、およびアップロードステータスが表示されます。

## ドキュメントの更新

ドキュメントはいつでも更新できます。InForm Portal アプリケーションでドキュメント履歴の監査証跡が保持されます。ドキュメントは監査目的では削除されませんが、ユーザに対して利用できないようにする場合は、ドキュメントを非表示にすることができます。

- 1 InForm Portal アプリケーションで、[管理] タブを選択します。
- 2 [レコードの編集] セクションの [ドキュメントの更新] をクリックします。  
[タブ名] ドロップダウンリストが表示されます。
- 3 ドキュメントが存在するタブを選択します。
- 4 [次へ] をクリックします。
- 5 選択したドキュメントに関連付けられている行で、[挿入] をクリックします。  
ドキュメントコンソールが表示されます。
- 6 次のフィールドに必要な情報を入力します。



**注:** 同時に最大 **3** つの異なるファイル拡張子の同一ドキュメントをアップロードできません。

- 変更理由 - 変更する理由。
  - このドキュメントを表示しますか? - ユーザにドキュメントを表示するかどうか。
  - ドキュメントの選択 - ドキュメントのパス。推奨ファイルサイズは 3MB 以下です。
- 7 [サブミット] をクリックします。

概要メッセージが表示されます。このメッセージには、アップロードしたファイルの名前、ファイルのサイズとタイプ、ファイルのダウンロードの所要推定時間、およびアップロードステータスが表示されます。

## ドキュメントのプロパティの編集

ドキュメントを更新してもう一度アップロードしなくてもドキュメントのプロパティ（タイトル、説明など）を変更できます。

- 1 InForm Portal アプリケーションで、[管理] タブを選択します。
- 2 [レコードの編集] セクションの [ドキュメントの更新] をクリックします。  
[タブ名] ドロップダウンリストが表示されます。
- 3 ドキュメントが存在するタブを選択します。
- 4 [次へ] をクリックします。
- 5 [編集] をクリックします。  
ドキュメントのアップロードコンソールが表示されます。
- 6 コンソールのいずれかのドキュメントプロパティ（参照名以外）を編集します。
- 7 [サブミット] をクリックします。

## エンドユーザに対するドキュメントの使用制限

管理者は、次のような場合にドキュメントの使用を制限する必要があります。

- ドキュメントが承認を待っている。
  - ドキュメントが依頼者ユーザにのみ関連し、施設ユーザにとっては重要でない。
- 公開されたドキュメントへのアクセスは、2 とおりの方法で制御できます。
- **ドキュメントの非表示** (40ページ)
  - **依頼者ユーザに対するドキュメントアクセスの制限** (40ページ)

### ドキュメントの非表示

- 1 InForm Portal アプリケーションで、[管理] タブを選択します。
- 2 [レコードの追加] セクションの [ドキュメントアップロード] をクリックします。  
ドキュメントのアップロードコンソールが表示されます。
- 3 すべてのフィールドに必要な情報を入力します。
- 4 [このドキュメントを表示しますか?] フィールドで、[いいえ] を選択します。
- 5 [サブミット] をクリックします。

ドキュメントの更新時に、ドキュメントを表示するかどうかを変更できます。

詳細については、「**ドキュメントの更新**」(38ページ) を参照してください。

### 依頼者ユーザに対するドキュメントアクセスの制限

依頼者専用として指定されたタブにドキュメントを配置することによって、ドキュメントの対象者を制限できます。タブが依頼者専用とマークされている場合、このタブにアップロードされるドキュメントは、依頼者ユーザとしてマークされているユーザだけに表示されます。

- 1 InForm Portal アプリケーションで、[管理] タブを選択します。
- 2 [レコードの編集] セクションの [タブ] をクリックします。
- 3 編集するタブの右側にある [編集] をクリックします。
- 4 [依頼者] を選択します。
- 5 [サブミット] をクリックします。

# ポータルのかのカスタマイズ

## InForm Portal のページ色

コンフィギュレーション管理者と Portal 管理者は、次の領域の色を定義できます。

- ページ左端のバー - InForm Portal ウィンドウの左端に沿って表示される垂直のカラーバー。
- セクションバー - タブのセクション見出しの背景となる水平バー。
- セクションテキスト - セクション見出しのタイトルテキストの色。

## 色の指定

- 1 InForm Portal アプリケーションで、[管理] タブを選択します。
- 2 [レコードの追加] セクションでの [ページ色の書式設定] をクリックします。

次のカラー選択グループが表示されます。

- Internet Safe Colors (インターネットセーフカラー)
- Gray Scale Colors (グレースケールカラー)
- Standard Colors (スタンダードカラー)

**注 : 16** 進値フィールドに **16** 進値で色を指定することもできます。

- 3 左側のページバーの色を選択します。
- 4 [次へ] をクリックします。
- 5 セクションバーの色を選択します。
- 6 [次へ] をクリックします。
- 7 セクションテキストの色を選択します。
- 8 [次へ] をクリックします。
- 9 変更を保存するには、[更新] をクリックします。
- 10 InForm Portal アプリケーションにおいて選択した色の表示を確認するには、任意のタブを選択します。